

街頭写真展 『町の顔』

宮城県栗原市若柳の人々の写真を中町商店街に展示する写真展を開催します

金野邦明写真展 町の顔

期間：2018年7月23日(月) 午前9時～8月16日(木) 午後9時

場所：若柳中町商店街

及び 若柳川北交流広場（宮城県栗原市若柳川北中町1番）

（中町商店街での展示は8月9日まで）

主催：なかまち振興会

<http://nakamachi.seesaa.net/>

なかまち振興会では本年の夏祭りイベントとして初の試みである街頭写真展を開催します。地元の写真家金野邦明が撮り続けている若柳の人々の写真を中町商店街と隣接する若柳川北交流広場に展示する試みです。

金野邦明は宮城県栗原市若柳に住む人々、若柳で仕事や活動をする人々の写真を撮り続けてきました。これらの写真を町なかの屋外に大きなサイズで展示をしたら面白いものになる、近隣の住人の写真が商店街に大きく飾られたとしたら非常に面白いだろう、さらにこれを若柳が最も活気づく夏祭りの時期に行ったとしたらエキサイティングなものになるだろう、という発想からこの写真展は企画されました。

タイトルの『町の顔』は若柳の誰もが町の主役＝町の顔であるというコンセプトと、その人たちの顔写真を町なかに展示するということの二つを含意しています。

若柳は2005年の合併により栗原市の一部となりましたが、それ以降若柳という地域のことを省みられることが少なくなったように思われます。地元民の写真を街頭に展示することにより、若柳という町について再認識しようというのが狙いです。

近年よくある町おこしのやり口ではなく、地元民が楽しめるもの、写真によって地元民がわくわくするものを目指します。

展示は若柳商店街の歩道と若柳川北交流広場で行います。

◎商店街の歩道では街灯フラッグの形体にプリントした個人のポートレートを10数点展示します。



フラッグのイメージ

◎川北交流広場では幅250cm、縦170cmのシートにプリントしたグループ写真を8点展示します。



グループ写真の例（準備作業中の様子）

～金野邦明～

2010年頃まで舞踊家として活動。

自らの作品上演と小川亜矢子氏、竹屋啓子氏、ニブロール等クラシックバレエ、コンテンポラリーダンス作品への出演などを行う。

豊住芳三郎氏、近藤等則氏、河合拓始氏等音楽家との共演も多数あり。

2012年頃写真始める。

写真家平間至氏、中島秀雄氏、フォトディレクター山崎信氏等の指導を受ける。

東京及び宮城県内にてグループ展10数回。